

恩湯等施設整備・運営事業について

長門湯守株式会社

これまでの恩湯等施設整備・運営事業の検討状況

2018年9月～11月

おとずれリバーフェスタ 2018 にて「ちょいサポ隊」

長門湯本みらいプロジェクトの特設HPにて募集

空いている時間に気軽にまちづくりに参加
自分の時間とお好みで
得意や興味で楽しんで
打ち上げ&まちづくり交流会開催



長門湯守のコンセプトである生活者（住民・従業員・事業者・移住者）が楽しめる
生活文化の創出と循環経済の創出。ちょいバイト、ちょい飲み

延べ参加人数
約 25 人

情報発信・会場設営・アンケート集計等に参加。リバーフェスタ終了後は
地元の方やまちづくりメンバーとともに打ち上げ+交流会を実施

飲食棟テイクアウト試作（チキンナゲット・鶏春巻き）



-concept-

地元の鶏、地元の野菜、地元のくだもの中心のテイクアウト
揚げもの・ここでたべられるもの・屋外でおいしい

飲食棟第 1 回試食会 2018年11月18日開催

メニュー

鶏ごはん2種

クリームシチュー/白みそと豆乳仕立て

長門豆腐/海と畑の薬味をそえて

他

コンセプト

長門名物でもある鶏肉を使った炊込ごはん

- ・シンプルで飽きのこない味
- ・地元食材との組み合わせ
- ・季節の恵みで楽しめる

山口県産大豆を使用したお豆腐

- ・地元の大豆、地域のもつ豊かさや歴史
- ・身体にいいもの、滋味深いもの、
温泉との相性

長門の四季豊かな風土を活かす

今回の料理人 松村康基さん

東京都出身。マクロビオティックのレストラン
野菜料理店で経験を積み

2018年9月よりフリーランスの料理人として活動
器作家とのイベントや料理教室を行う



鶏ごはん



鶏ごはん



親子丼



クリームシチュー



長門豆腐



手作りがんも



長門豆腐



飲食棟メニュー構成のための視察

大阪市 老松 みやもと

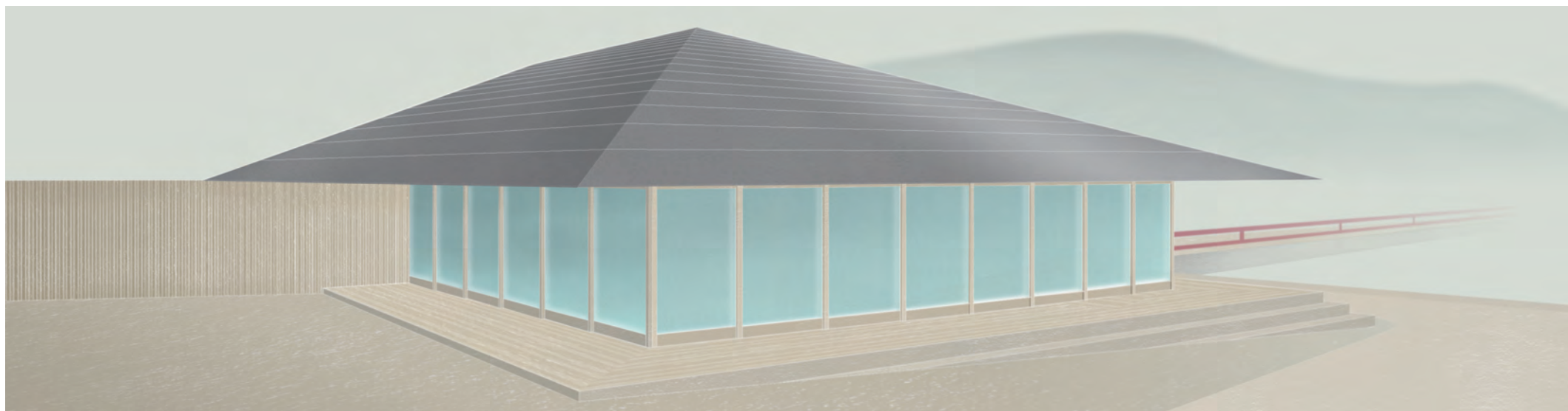
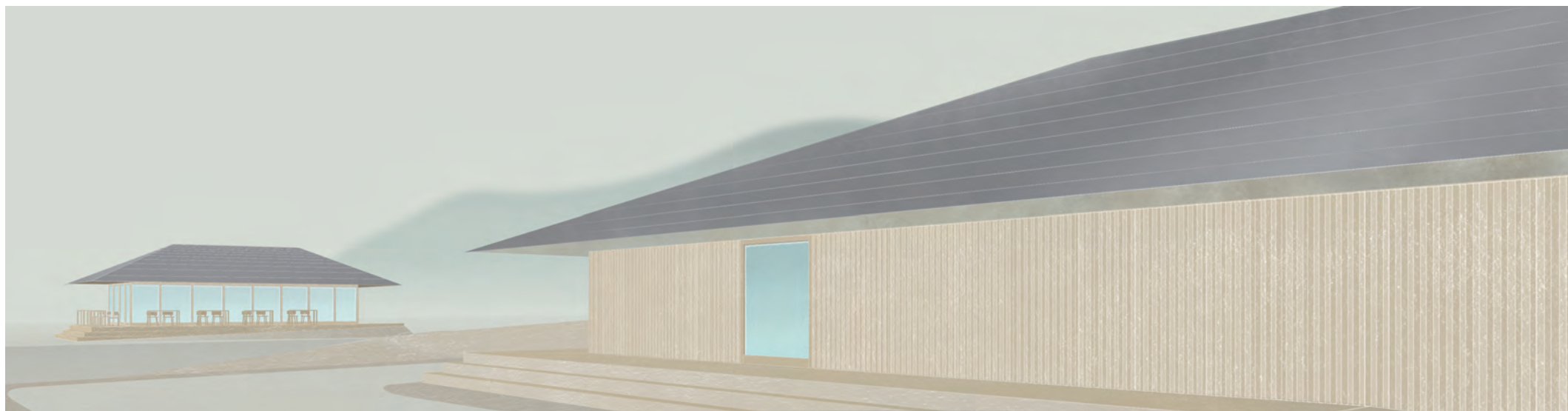


居心地のいい空間 食器やグラスの選択 カトラリー・箸の重要性

店内の整理整頓 老舗感 新しさ 店内の清潔さ深みのある味 そこでしか食べられないもの
あきられない普遍的なもの 食べる量の加減がひとにより可能

長門湯本温泉観光まちづくり恩湯等施設整備・運営事業
恩湯 岩盤上屋棟 飲食物販施設 新築工事 施工業者決定

山口県長門市日置上 8 8 5 ヤマネ鉄工建設株式会社



観光まちづくりと新しい恩湯を長明塾にて講演

- ・ 長門湯本温泉観光まちづくり計画
- ・ 長門湯守のメンバー紹介
- ・ 事業コンセプト：人・川・温泉・空間
- ・ 新・恩湯の方向性
- ・ 歴史性を尊重し、現代のニーズを踏まえた、恩湯の話
- ・ スモールエリアの創造
- ・ 恩湯再建への寄付のお願い



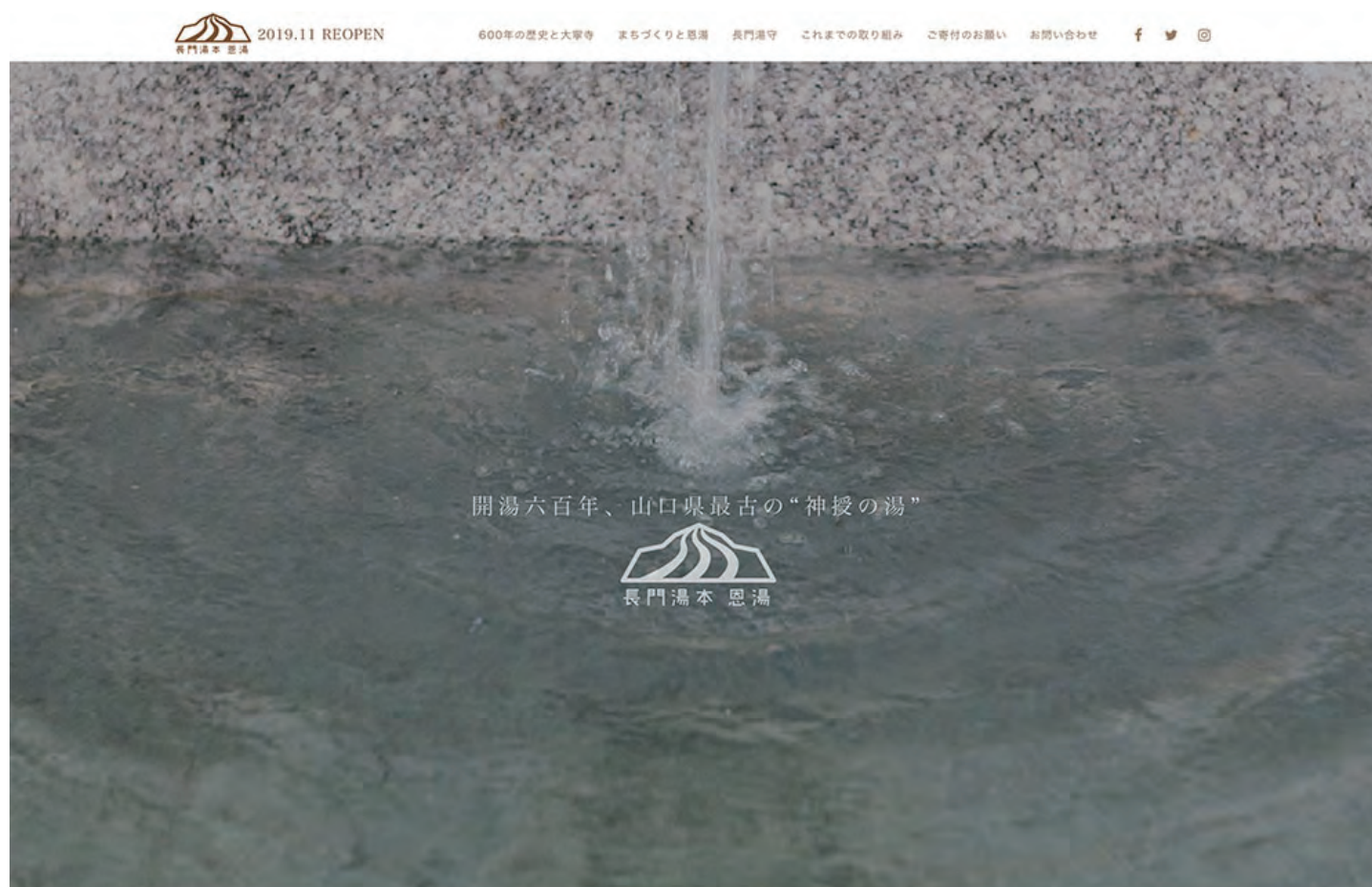
川床河川空間活用 大谷山荘・玉仙閣



恩湯ホームページ開設 <https://onto.jp/>

facebook ページも開設

1 ヶ月半で「いいね」1000 超



2019.11. REOPEN



恩湯への寄付も広く募集中



住民説明会にて入浴券の種類と料金案を公表





長門湯守がまもるもの

里山の原風景を感じさせる深い森に囲まれ、穏やかな音信川に沿って広がる長門湯本温泉。1960年代以前には、川沿いに小宿が肩を並べ、八百屋、お肉屋、土産物屋などと共に街の賑わいを形作っていました。

旅館が内湯を備えていなかったその時代、旅人は必ず恩湯（外湯）に入り、通りには常に湯下駄の小気味よい音が“カランコロン”と響いていたと言います。温泉に恵まれた地ゆえ、お風呂を持たない家も多く、街の住民も恩湯を日常的に使っていたそうです。

恩湯に近い川沿いには、長門湯本ならではの「公衆洗濯場」があり、川へ流れる温泉水を使って住民が談笑しながら洗濯に励む。そんなほのぼのとしたコミュニティも、この場所にありました。

住民も旅館で働く料理人も、夕朝食の食材を街の商店に買いに行く。街を訪れた人々と、恩湯や川沿いで自然に触れ合う。そこには恩湯を中心とした日々の営みが存在し、高度経済成長期を経て、失われつつある「歩いて楽しむ温泉街」の姿が、確かにありました。

長門湯守は、人々が集い続けたこの場所の魅力を改めて見つめ直し、長門湯本の自然資本である温泉、音信川の環境を尊重し、生活者の暮らしの喜びに即した固有のまちづくりを目指します。



室町の時代から脈々と続き、大正、昭和、平成の節目ごとに恩湯の建築も変わってきた

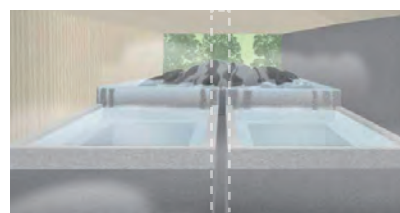
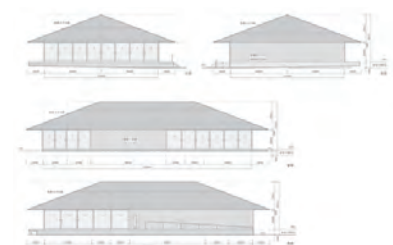


穏やかな音信川は昔も今も、かけがえの無い長門湯本の自然資本

新たな恩湯が目指すもの

寺社仏閣に使われる銅板葺きの屋根と、木材をふんだんに使った素朴な佇まいは、仏生山温泉の建築で知られる岡昇氏によるデザイン。

頭上の丘に鎮座する住吉神社と恩湯、音信川をひとつながりとするパブリック空間は、観光客と生活者がともに楽しむ、長門湯本の新しい景色です。



建物は泉源の真上に立ち、入浴時には「岩盤からの湧き出るお湯を見ることができる」全国でも珍しい温泉施設となります。深さ1メートルの湯船にゆっくりと浸かり、古代より滔々と湧き続ける「神授のお湯」を堪能してください。

また、併設の休憩スペースは開放的なガラス張り、静かに流れる音信川のせせらぎを楽しみながら、のんびりとお風呂上がりを過ごせます。

恩湯入浴券の種類と料金(案)

※ 幼児（三歳まで）は無料でご使用いただけます。※ 休前日は土曜日および、祝祭日の前日です。※ 特定期間は年末年始、ゴールデンウィーク、お盆などの繁忙期となります。別途、営業日カレンダーにてご案内します。

利用券の種類	対象エリア	大人（中学生以上）		小人（４歳～小学生）		ご利用可能な日時
		平日	休日・休前日・特定期間	平日	休日・休前日・特定期間	
入浴券	どなたでもご購入いただけます	650 円	700 円	300 円	350 円	全ての営業時間帯
１日バス		800 円	1,000 円	400 円	500 円	
入浴回数券（11 枚）		6,000 円		3,000 円		
地域フリーパス	三ノ瀬・湯本・門前の住民	6,000 円 / 月額		3,000 円 / 月額		全ての営業時間帯 平日：10 時～14 時・18 時～22 時 休日・休前日・特定期間：18 時～22 時
地域バス（制限有）		3,500 円 / 月額		1,500 円 / 月額		
市民フリーパス	長門市 市民	10,000 円 / 月額		5,000 円 / 月額		全ての営業時間帯 平日：10 時～14 時・18 時～22 時 休日・休前日・特定期間：18 時～22 時
市民バス（制限有）		6,000 円 / 月額		3,000 円 / 月額		

※ こちらの料金は確定したものではありません。変更になる場合がありますので、ご了承ください。

恩湯の建築費用のための恩湯基金設立

600年を折り返しとして、未来に伝えるために ～恩湯再建へのご寄付のお願い～

開湯600年。山口県最古の歴史を持つ長門湯本温泉のシンボルとして愛され続けている「恩湯」を、地域の手で守り次世代に受け継ぐために、私たち長門湯守は責任と熱意を持って全力で取り組む所存です。

つきましては、2019年11月の恩湯再オープンに向けて、私たちの試みにご賛同いただける皆様方に、お力添えをいただきたく、ここに恩湯再建へのご寄付をお願いする次第です。お預かりした寄付金は建築費用の一部に活用させていただきます。

今般の経済情勢の中で、誠に厚かましいお願いではございますが、何卒ご理解とご協力のほどを、よろしくお願い申し上げます。

平成30年11月18日
長門湯守 株式会社
共同代表 大谷 和弘、伊藤 就一

ご返礼品について

ご支援金額	ご返礼品
五千元	「入浴券1枚」
一万円	「入浴券2枚」
二万円～四万円	「入浴券5枚」
五万円～十万円	「入浴回数券1冊」
十一万円～三十万円①	「入浴回数券2冊」
十一万円～三十万円②	「時間貸切入浴券」
十一万円～三十万円③	「入浴回数券1冊」
四十万円～五十万円	「年間フリーパス1名様分」
六十万円～百万円	「年間フリーパス2名様分」
百五十万円～二百万円①	「年間フリーパス1名様分＋旅館宿泊券1名様分」
百五十万円～二百万円②	「温泉開き・お一人目入浴券（男湯・女湯）」
二百五十万円～三百万円	「年間フリーパス2名様分＋旅館宿泊券2名様分」

スケジュール

	建築 恩湯＋岩盤上家棟＋飲食物販施設共通	飲食メニュー	空間活用イベント
2018年8月	基本設計	社会実験コア期間用メニュー開発	
9月		社会実験コア期間での試験販売	社会実験連携
10月	実施設計図面作成	試食会実施	音信川と橋の夜 (オソト活用協議会との連携、コンテンツの拡充)
11月		コンセプト決定	
12月	本見積り		
2019年1月		試食会実施	
2月	建築確認申請	メニュー開発	音信川と橋の夜 (閑散期・寒さ対策検討)
3月	その他の申請	試食会実施	
4月	建築工事	メニュー開発	
5月		試食会実施	音信川と橋の夜 (オソト活用協議会との連携、コンテンツの拡充)
6月		メニュー開発	
7月		試食会実施	
8月		メニュー開発	
9月	9月末：竣工	最終試食会実施	社会実験連携
10月	開業準備	開業準備	
11月	開業・運営	開業・運営	オープニングイベント検討